

みずほCustomer Desk Report 2018/12/03号(As of 2018/11/30)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.49
TKY 9:00AM	113.42	1.1392	129.21	GBP/USD	1.2787
SYD-NY High	113.73	1.1401	129.27	AUD/USD	0.7322
SYD-NY Low	113.31	1.1306	128.43		0.7285
NY 5:00 PM	113.41	1.1316	128.46		0.7307
NY DOW	25,538.46	199.62	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,330.54	57.45	日本10年債	0.0800	0.00bp
S&P	2,760.17	22.41	米国2年債	2.7956	▲1.21bp
日経平均	22,351.06	88.46	米国5年債	2.8218	▲2.54bp
TOPIX	1,667.45	7.98	米国10年債	2.9924	▲3.83bp
ソコ日経先物	22,420	120	独10年債	0.3125	▲0.75bp
ロンドンFT	6,980.24	▲58.71	英10年債	1.3615	▲0.40bp
DAX	11,257.24	▲40.99	豪10年債	2.5870	▲2.50bp
ハンセン指数	26,506.75	55.72	USDJPY 1M Vol	6.35	▲0.03%
上海総合	2,588.19	20.74	USDJPY 3M Vol	6.87	▲0.11%
NY金	1,226.00	▲4.40	USDJPY 6M Vol	7.43	▲0.03%
WTI	50.93	▲0.52	USDJPY 1M 25RR	-0.78	Yen Call Over
CRB指数	181.74	▲0.58	EURJPY 3M Vol	8.44	▲0.09%
ドルインデックス	97.27	0.49	EURJPY 6M Vol	8.92	▲0.03%

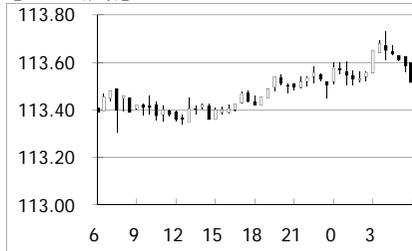
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月30日	08:30	日	失業率	10月 2.4% 2.3%
	08:30	日	東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	11月 0.8%/1.0%/0.6% 1.1%/1.0%/0.6%
	10:00	中	非製造業PMI/製造業PMI	11月 53.4/50.0 53.8/50.2
	16:00	独	小売売上高(前月比/前年比)	10月 -0.3%/5.0% 0.4%/1.4%
	19:00	欧	失業率	10月 8.1% 8.0%
	19:00	欧	コアCPI	11月 1.0% 1.1%
	22:30	加	GDP(前月比/前年比)	9月 -0.1%/2.1% 0.1%/2.3%

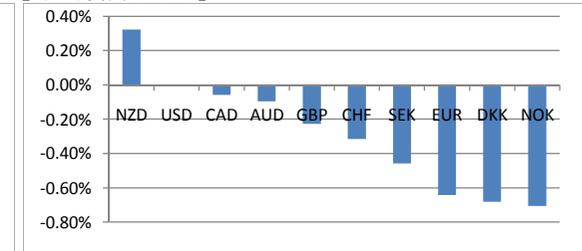
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月3日	17:55	独	マーケット製造業PMI・確報	11月 51.6 51.6
	22:00	米	クウォールズFRB副議長 講演	- -
	23:45	米	マーケット製造業PMI・確報	11月 55.4 55.4
12月4日	00:00	米	建設支出(前月比)	10月 0.4% 0.0%
	00:00	米	ISM製造業景況指数	11月 57.5 57.7
	03:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁 講演	- -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.50-114.20	1.1300-1.1400	128.50-129.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル円相場は上に往って来いの展開となった。良好な米経済指標の結果を手がかりに、113.70台まで上昇するも、その後は米金利低下の低下を受けて113.40台まで戻してクローズした。本日はレンジ推移を予想する。週末に開催されたG20では首脳宣言が採択され、米中首脳会談では90日間の「停戦」で合意され、リスクセンチメントの悪化は抑えられた。但し、米10年債利回りが先週、FEDスタンスでハト派色が強まる中で3.00%を下回っている点はドル円相場の重石となりそうだ。114円台前半から半ばは度々が跳ね返されてきている水準でもあり、本日のドル円相場はここを上抜けするには至らず、113円台後半を中心とした展開になると予想する。

東京	オセアニア時間、113.31から113.49のレンジで推移したドル円は東京時間、113.42レベルで取引を開始。月末5・10日であることから実需の買いフローが意識される中、公示仲値の発表にかけて113.46まで上昇。しかしその後は週末に米中首脳会談を控えていることからマーケットは様子見ムードの展開。日経平均株価も小幅な値動きとなる中、ドル円はオセアニア時間のレンジをブレイクすることなく僅か12銭での推移となり、113.40レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113.40レベルでオープン、アルゼンチンで開催中のG20での米中会談を待つ中、特に材料が出ず小幅推移。113.55まで上昇し、113.54レベルでNYに渡った。ユーロは、1.1393レベルでオープン、イリヤ政府の妥協を期待してか堅調な立ち上がりだったが、ボンドが売られるのにつれ安さの中で発表されたユーロ圏11月インフレ率が予想以下の数値となり1.1358まで低下、1.1367レベルでNYに渡った。ポンドは1.2780レベルでオープン、一時1.2808まで買われる場面もあったが、ブレクジットの英議会議決への不安感を払しょくする材料がない中、1.2743まで下落。結局1.2758レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は113.31-113.55の狭いレンジで推移し113.54レベルでNYオープン。NY朝方、113.45まで下落したが、オプションにかけて底堅く推移し、113.60まで続伸。一旦小緩むも月末のドル買い需要に再び113.60を回復すると、ストップを巻き込みながら高値113.73まで上昇。NY終盤は米金利低下を受けて反落。米10年利回りが3%を割り込む動きを横目に113.41まで下落し、そのまま113.41レベルでクローズ。トランプ代表が12月1日予定のトランプ大統領と中国の習近平国家主席の夕食会について「うまくいかなかったら非常に驚くだろう」と述べ、米中通商協議に楽観的な見方を示したが、ドル円の反応は限定的だった。一方、ユーロはユーロ圏11月CPIが予想を下回ったことから一時1.1358まで下落し、その後小幅に値を戻し1.1367レベルでNYオープン。NY朝方は海外時間の流れを引き継ぎユーロ売り優勢の展開。月末のドル買い実需も意識される中、テクニカルな水準を下げ、安値1.1306まで下落。心理的節目の1.1300はサポートされ1.1322まで反発したが、上値は重く、結局安値圏の1.1316レベルでクローズ。なお、G20首脳会談がアルゼンチンで開催されているが、特段ヘッドラインが出なかったことから市場への影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:坂本・田家